

## 第7回 CHIPs Report

### 審査を通して見えてきた、これからの視点

— *CHIPs Audition 2025* を振り返って



先月号でお伝えした「CHIPs Audition 2025」では、智頭町での挑戦に関心を持つ多くの人々から、さまざまな事業アイデアが寄せられました。改めて、参加いただいた皆さんに感謝いたします。

Auditionの場では、「なぜ智頭町なのか」「地域とどう関わっていくのか」といった問いを軸に、起案者と審査員の間で丁寧な対話が重ねられました。本号では、その後に行われた審査や話し合いを通して、どのような視点が共有され、今後の智頭町での取り組みをどのように考えていくことになったのかをお伝えします。

### ■二つの切り口から、智頭町の可能性を考える



▲審査会の様子

#### 焦点となった“二つの切り口”

##### 香 り

智頭杉をはじめとする地域資源の魅力を、どのように外へ伝えていけるかが課題

##### 食

飲食店を増やすことを目的にするのではなく、**食の現場**を一つの入り口として、人が育ち、働き、町と持続的に関わり続ける形をどう描けるかが課題

審査会で議論を進める中で、「香り」と「食」という二つの切り口が見えてきました。いずれも、特定の分野や事業を支援するというよりも、これまでの経験やつながりをもとに、どう智頭町と結びつけていけるかを考えるための視点です。

今回のAuditionでは、こうした切り口以外にも、魅力的なアイデアや着眼点が数多く見られました。すでに自分のペースで取り組みを進めている人、形を変えて再び挑戦を考えている人など、関わり方はさまざまです。CHIPsとしても、特定の形に決めすぎることなく、智頭町で何かが始まろうとする動きを、そっと後押ししていけたらと考えています。

Auditionは、ひとつの通過点です。これから、試しながら、話し合いながら、少しずつ形が見えてくることもあると思います。次号以降では、そうした動きや変化もお伝えしていく予定です。今後のCHIPsの取り組みを、温かく見守っていただければ幸いです。

【CHIPs Audition】公式WEBサイトはこちらから

